

◆半紙二行たて書きに臨書して下さい。出品料440円

第四回

1、字句 但増歎概

2、形式 半紙タテ使用。右に「但増」、左に「歎概」と臨書し、左余白に落款

「○○臨」と調和を工夫して書き入れる。

3、概観 「十七帖」は手紙であるとは前に書きましたが、現在古典とされている中にも手紙は多く残されています。空海が最澄に送った手紙が「風信帖」で、最澄の「久隔帖」、藤原佐理の「離洛帖」なども残されています。

唐の太宗皇帝が、三千紙にものぼる手紙を集めていたと言われています。その数の多さにも驚かされますが、書き振りの似かよったものを厳選し、「十七帖」としてとされています。

現在、筆で手紙を書く人がどれだけいるだろうか。ちなみに、私は、手紙は筆で書くことにしています。

4、各字のポイント

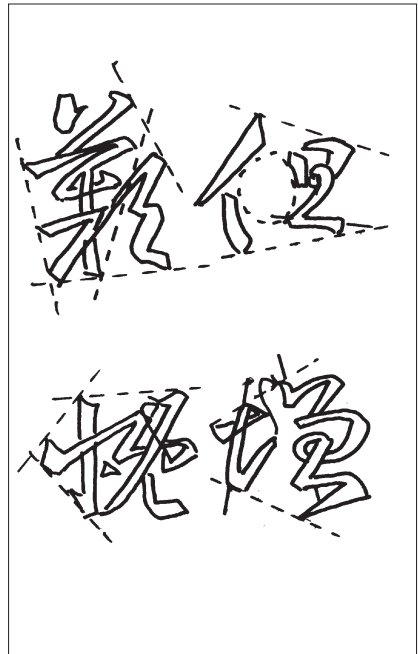
但 イ偏は大きく、一画目は起筆を強く打ち込み直線的に。旁との間は広く余白をとり、旁の横画は右肩を下げる。

増 「但」と比べると、偏が小さく旁を大きく構える。偏の二画目は左に開き、旁の一画目は左に寄せ、偏とのバランスを取る。

歎 全体に直線的な表現。偏の横画の収筆は左に寄せ、旁を強く狭く処理。

概 偏を幅広く強さを表出。旁は、△で筆を突き、その弾力を利用して筆を引き上げ細線とする。

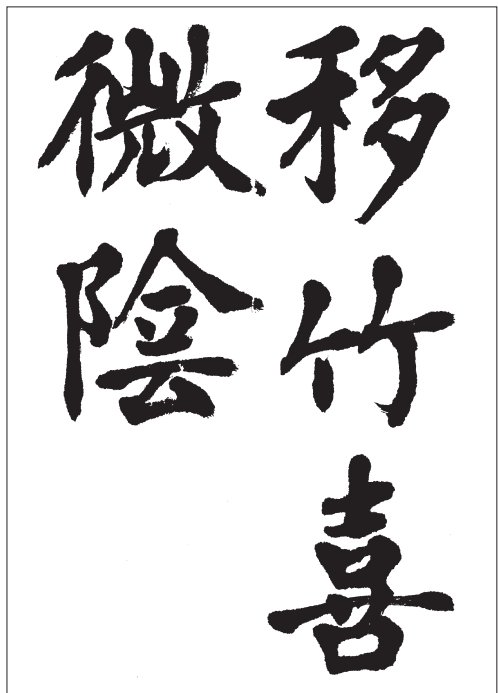
今回の課題は偏と旁の処理に注目して下さい。



十七帖・王羲之

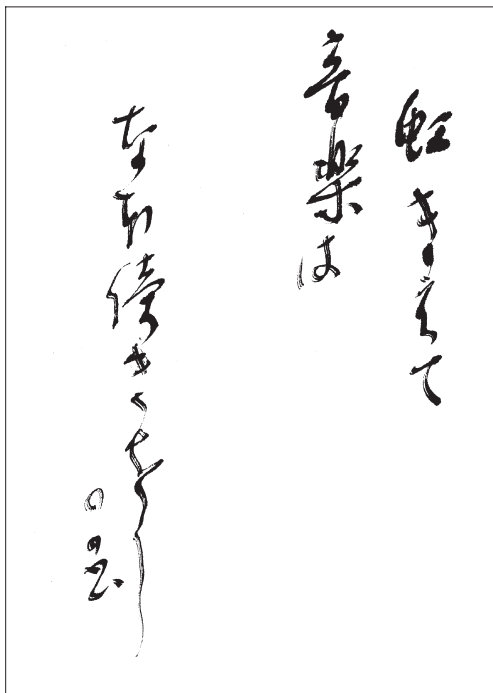
半紙課題(予告) (八月二十二日締切)

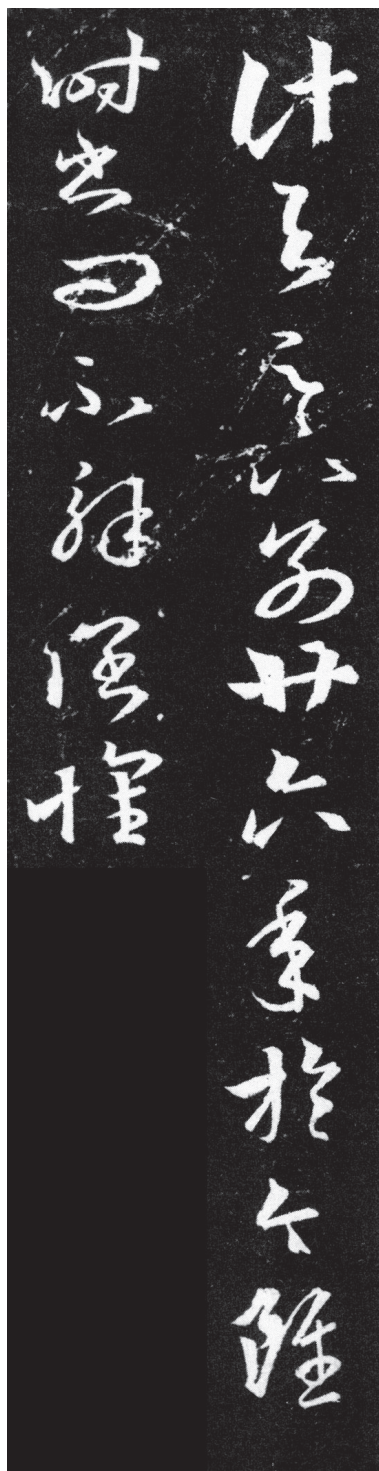
平岡華雪先生書 竹を移して微陰を喜ぶ(陸游)



訳：竹を移し植えて、わずかな日かげを楽しむ。

平岡華雪先生書 虹きえて音楽はなほ続きをり(虚子)





（天来書院）

計與足下別。廿六年於今。雖時書問。不解闊懷。  
計るに足下と別れてより、今に二十六年なり。時に書問すと雖も闊懷を解かず。  
（現代語訳）指折り数えてみますと、あなたとお別れしてから早二十六年になります。その間、時折手紙のやり取りはしていたものの、実際には久しくお逢いしておりませんので、なつかしさはつるばかりです。

※随意部参考（半紙・条幅）としてもご利用下さい。抜粋可。  
随意部半紙は無料。随意部条幅は一枚目無料、二枚目から五五〇円。  
バーコード券に「条臨」とご記入下さい。名簿は条幅部で「臨」と表示されます。

## 一字書（七月二十二日締切）

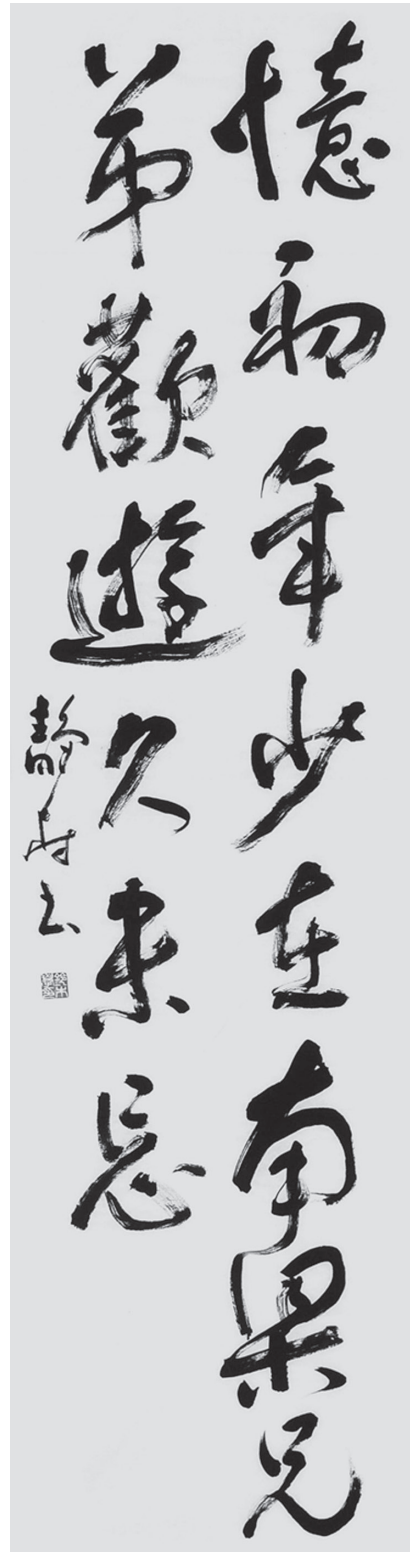
### 課題

# 修

- (1) 書体自由
- (2) 半紙タテ ※ヨコは中止
- (3) 落款は余白に調和を工夫し書き入れる
- (4) 出品料 四四〇円
- (5) バーコード券貼付 太枠内の臨昇の隣の空欄に  
一字と記入 段級は無記入

A 鈴木静村先生書

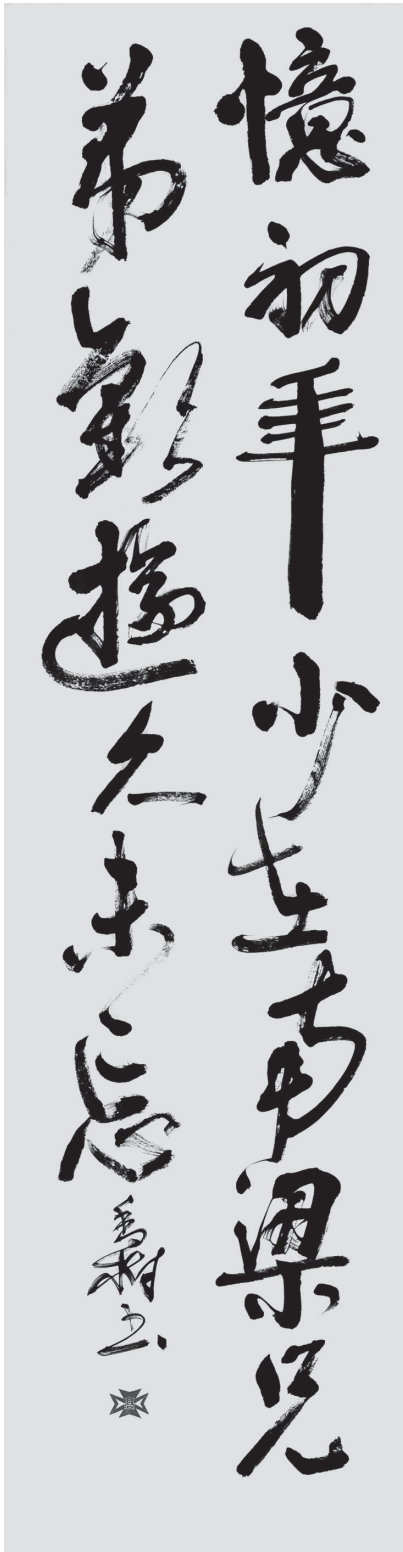
憶初年少在南梁 兄弟歡遊久未忘 (楊逸)  
憶う初め年少南梁に在りて、兄弟歡遊し久しく未だ忘れず。



B

高橋香樹会長書

筆は3号純羊毛、濃墨をたっぷり含ませ豊かな線の表出にねらい。行書単体を基調、大事な点は、字々の意連(脈絡)に留意し深められるように。落款の位置は、決まりはなく一作ごと相違、訓練の積み重ねこそ力。憶 偏縦画、含墨多くもキリッ。南 墨継ぎ、草体右上小空間大切。梁 長横画太く強く。兄 末画に相違。弟 縦画傾きで活き。歛 渴筆にも墨の表出を。遊 墨継ぎ、之繞伸びやかに。忘 筆調を鎮めて収める。



最近、展覧会への出品は「破体書(作品を数種の書体で書す)を試みている。そこで、今回は行草書の中に、木簡「年」を加えてみました。よって行書8、草書5、木簡1となります。連綿線は3箇所。文字は、左上から始まり右下で終わるものが圧倒的に多い。故に、連綿線は右から左への線が多くなり、動きも同じ動きとなりやすい。この点の工夫が必要です。訳: 思い出す、少年の昔に南梁において、兄弟で楽しく遊んだことは今も忘れない。

予告 (八月二十二日締切) 山長水遠知何處 兩岸葦花空月明 (釋英)

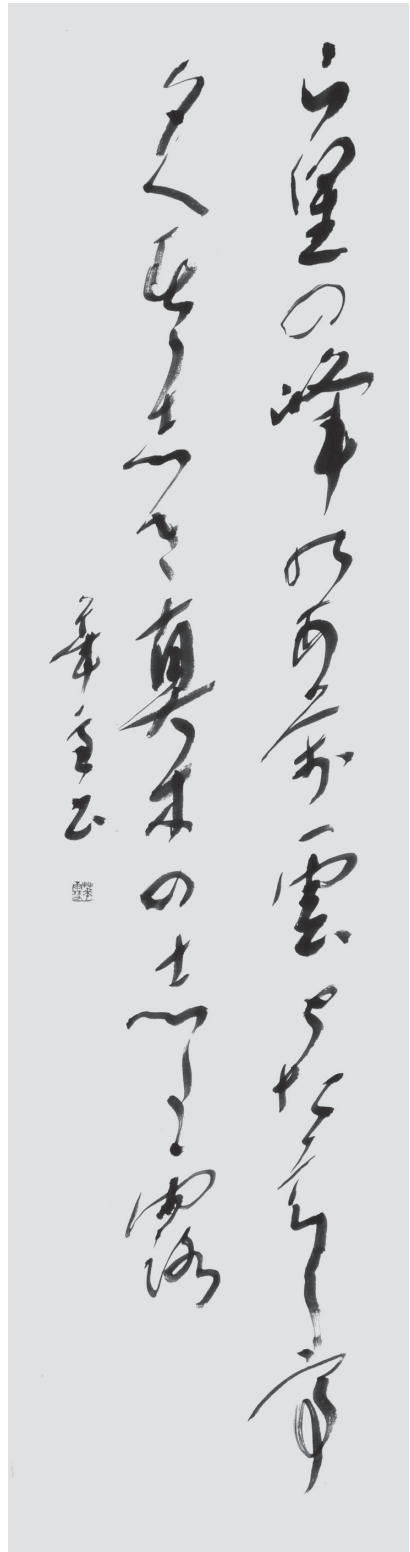
- ◆注意
- ・条幅部の出品は一人一点(バーコード券の条漢を○で囲み(1)と記入する。)
  - ・二枚目からの出品(バーコード券の条漢を○で囲み( )に何枚目か数字を記入する。出品料550円)

A

平岡華雪先生書

山里の峰のあま雲とだえして夕べすゞしきまきの下露  
 山里の峰能あ萬雲とた衣し亭夕へ春々志き真木の志多露

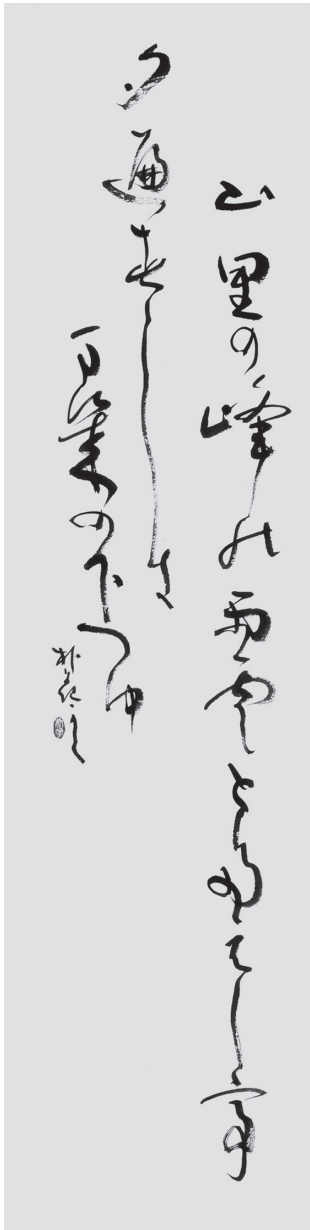
太上天皇



B

向山朴花先生書

山里の峰能雨雲と多えし亭夕遍春々し支万幾の下つゆ



太上天皇とは、讓位した天皇のこと。奈良、平安時代以降、多くの天皇が讓位し、上皇となった。

太上天皇「後鳥羽院」大神宮にたてまつりし夏歌中に、と詞書きがある。後鳥羽院は、平安時代末期から鎌倉時代初期にかけての第82代天皇。新古今和歌集の実質的な撰者。歌風は、大胆と細心との組み合わせが得意と言われる。

学 び 方

歌意：山里の頂にかかる雨雲はとぎれて、雨上がりの夕暮、真木から滴り落ちる名残りの雪が、いかにも涼しく感じられる。

三行書きの散らしです。少し変わった点は三行目。終句の末尾と添えた落款を上方でおさめ、左下に大きく余白が出来ました。

一行目、最終文字「亭」の最終画を上方につり上げて、左上に続く意を表出しました。二行目、「春々しき」の「し」を渴筆で長く伸ばし、この歌の本意である終句を強調し、墨を入れて左に添わせてみました。

長い、勢いをつけた線は、途中から筆管が少し向こう側に倒れる位の送筆にしてみましたがお試し下さい。今回は線の動きの表現に苦しみ、逆に楽しむことが出来ました。

予告 (八月二十二日締切)

道のべの草の青葉に駒とめてなほ故郷をかへりみるかな (新古今和歌集)

民部卿成範)

- ◆注意
- ・条幅部の出品は一人一点 (バーコード券の条かを○で囲み(1)と記入する。)
- ・二枚目からの出品 (バーコード券の条かを○で囲み( )に何枚目か数字を記入する。出品料550円)

条幅部 随意参考

高橋 紫芳先生書

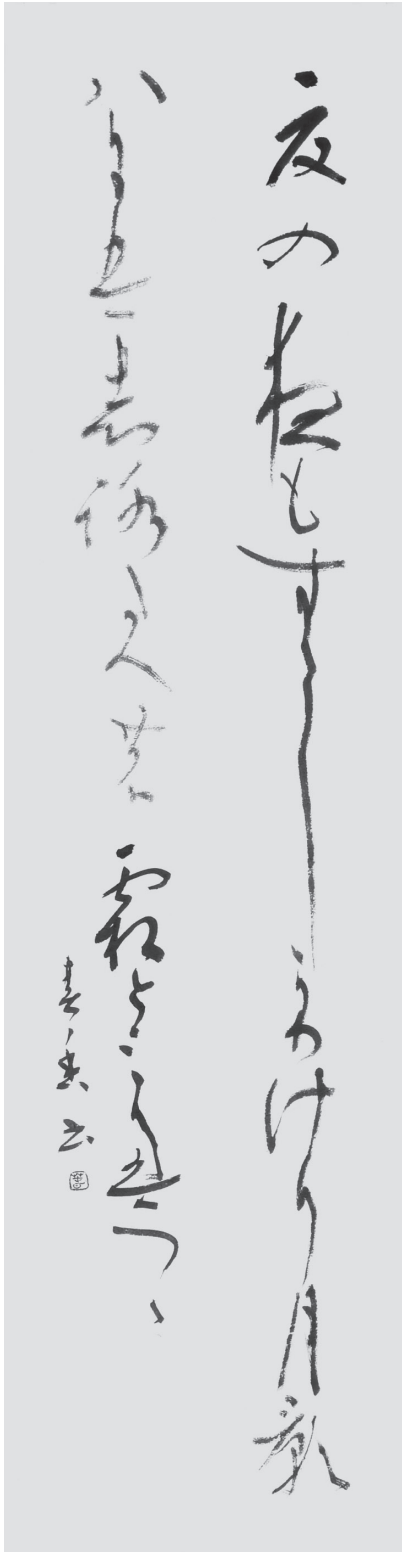
簾前花落常疑雨 樹裏雲過忽見山（殷邁）  
 簾前花落常に雨かと疑い、樹裏雲過ぎ忽ち山を見る。



訳：垂れた簾の前に落花が散っていつも雨かとも見る。樹間の雲がすぎ去って今まで隠れた山が見える。

石原 春香先生書

夏の夜もすしかりけり月影は庭白妙の霜とみえつつ（藤原長家）  
 夏の夜もすゞしかりけり月影ハ庭白妙の霜とみえつつ、  
 夏の夜もすゞしかりけり月影ハ八尔盤志路多へ農霜と三盈つゝ



- ◆注意
- ・条幅部の出品は一人一点（バーコード券の条随を○で囲み（1）と記入する。）
  - ・二枚目からの出品（バーコード券の条随を○で囲み（ ）に何枚目か数字を記入する。出品料550円）

水貝潮華先生書

六月の氷菓一盞の別れかな

中村草田男



今月の課題は、夏休みに入るころ、それぞれが散ってゆく学生同士の、しばしの別れの情景で、青春の哀歓がにこい立つような句です。「氷菓」はアイスクリーム。「盞」は氷菓の容器。漢語調のことばで張りのある句なので、漢字作品を書く感覚で、漢字部にタツプリと墨を入れ、緩急をつけ、そこに仮名を添えるイメージで書いてみました。線が単調になるのを避け、「六月の…」を一つの塊とし、それを受けて、「一盞の…」を一行で密部を作りながら、動きを持った流れで表現してみました。皆さんは、どのような表現の作品にされるのかを楽しみにしています。

盞

点二つは最後に



中村草田男(一九〇一—一九八三)父の任地の中国福建省生まれ、俳人。愛媛県人。昭和四年「ホトギス」に入会。高浜虚子に師事し、同九年同人。加藤楸邨・石田波郷らと人間探求派と称せられる。のち、「ホトギス」を離脱。同二十一年『萬緑』創刊・主宰。平成三年『中村草田男全集』完成。句集『長子』『来し方行方』『火の島』『母郷行』など。

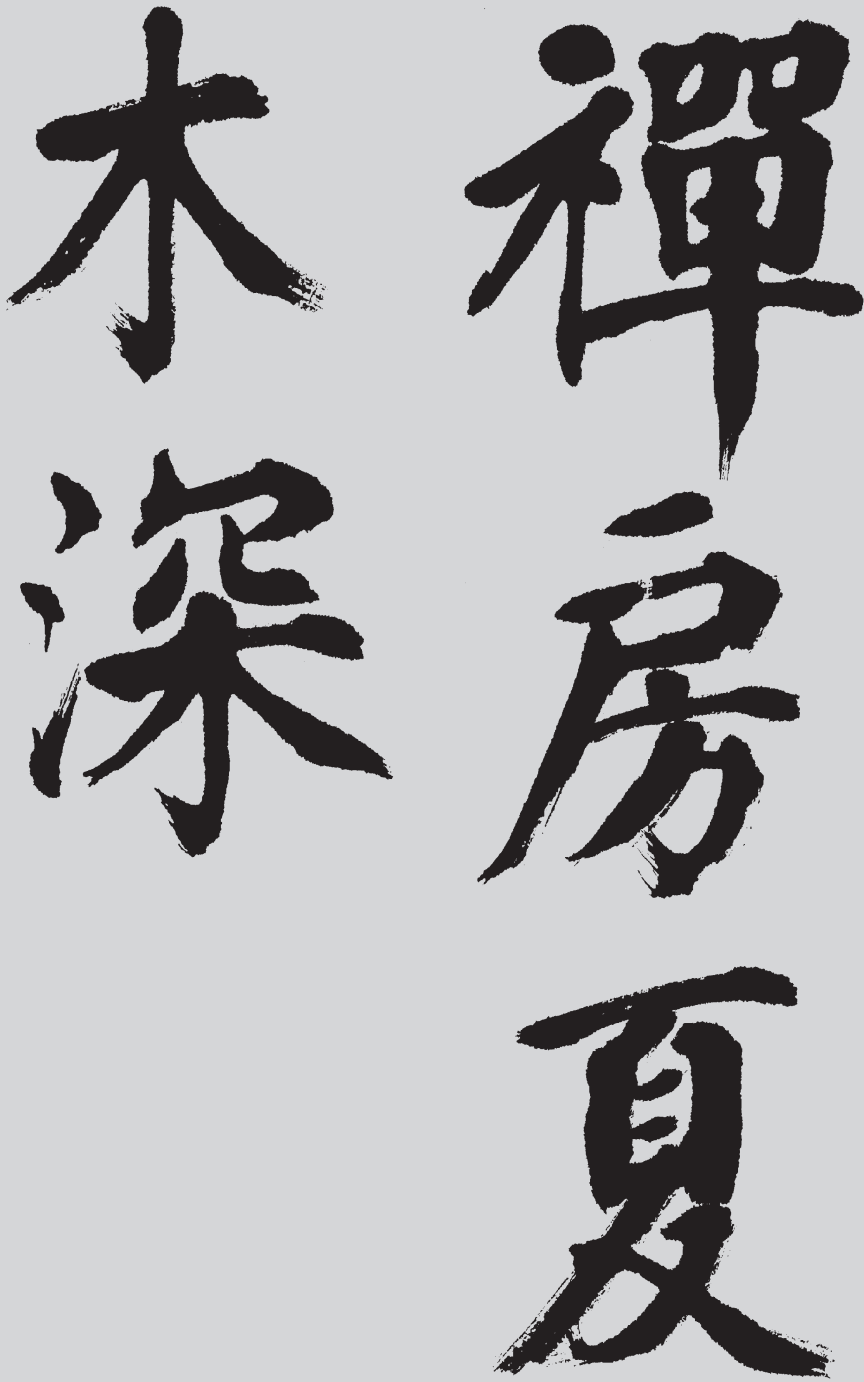
◆注意…はじめて出品される方は私製の紙(3×4 cm位)に次の4項目を記入して作品左下隅に貼って出品して下さい。出品料550円。

①バーコード券右空欄に漢かと記入 ②支部名または都道府県名 ③氏名または雅号 ④新

平岡華雪先生書

禅房夏木深し(裴迪)

訳：禅寺に夏木立ちが樹陰を深くしている。



「夏、木、深」の末画(右払い)は各字の主画、のびやかに。「深」旁を大きくした形は、古典には断然多い。



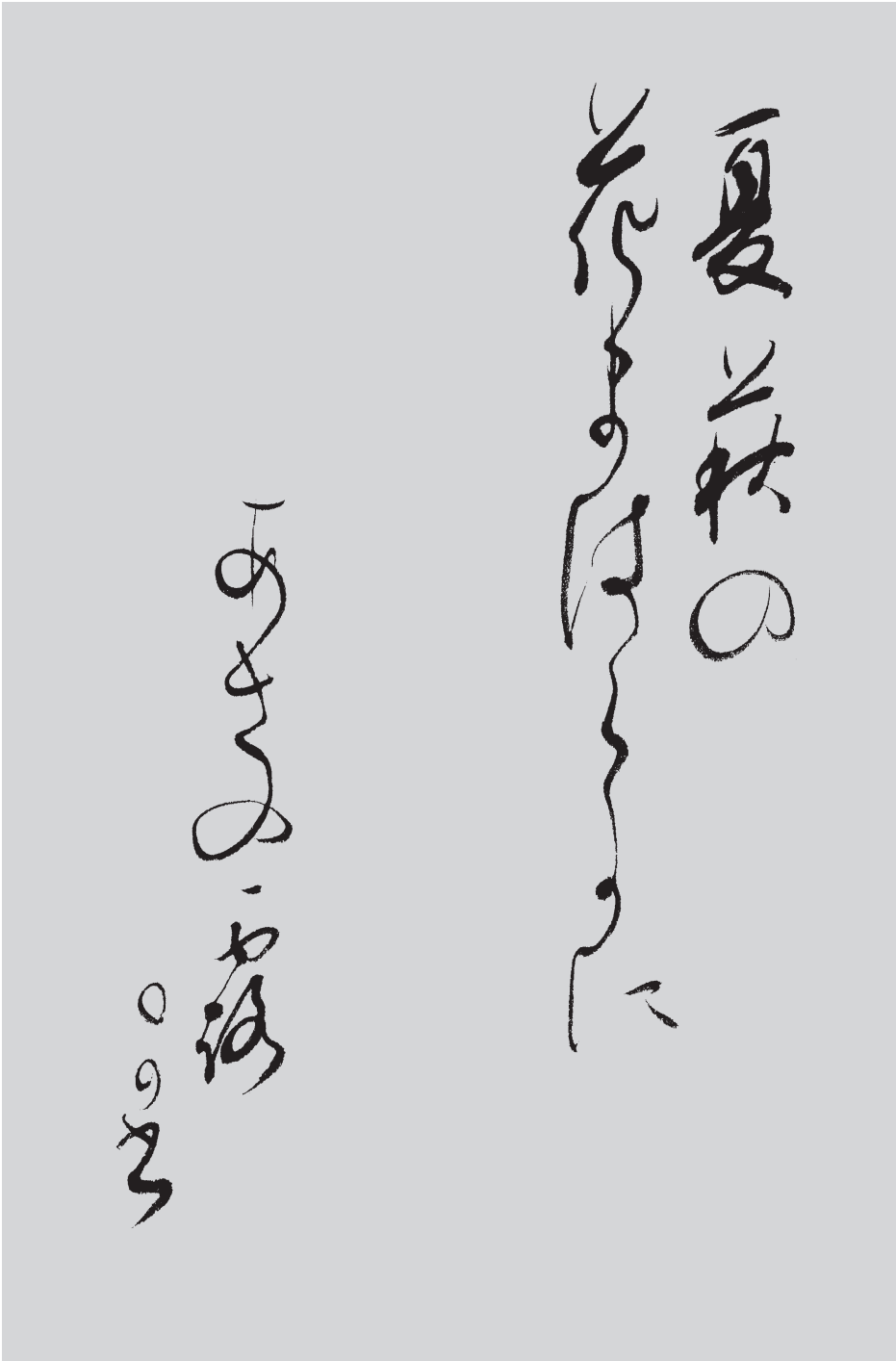
◆注意…はじめて出品される方は私製の紙(3×4 cm位)に次の4項目を記入して作品左下隅に貼って出品して下さい。会員は無料、会員外出品料は460円。

- ①漢字部 ②支部名または都道府県名 ③氏名または雅号 ④新

平岡華雪先生書

夏秋の花疎らかに朝の露(句伝)

夏秋の花末はら可にあさの露



〈呼吸を求めて〉

連綿の「呼吸」を知ること、ここが連綿のポイントの一つ。「花末はら可に」の場合、どこで筆休めをとるのか、「呼吸法」を知ることです。

例えば、「ピク」「フ」「フ」「フ」「フ」「フ」「フ」等の「呼吸」を会得されるよう心がけてみて下さい。

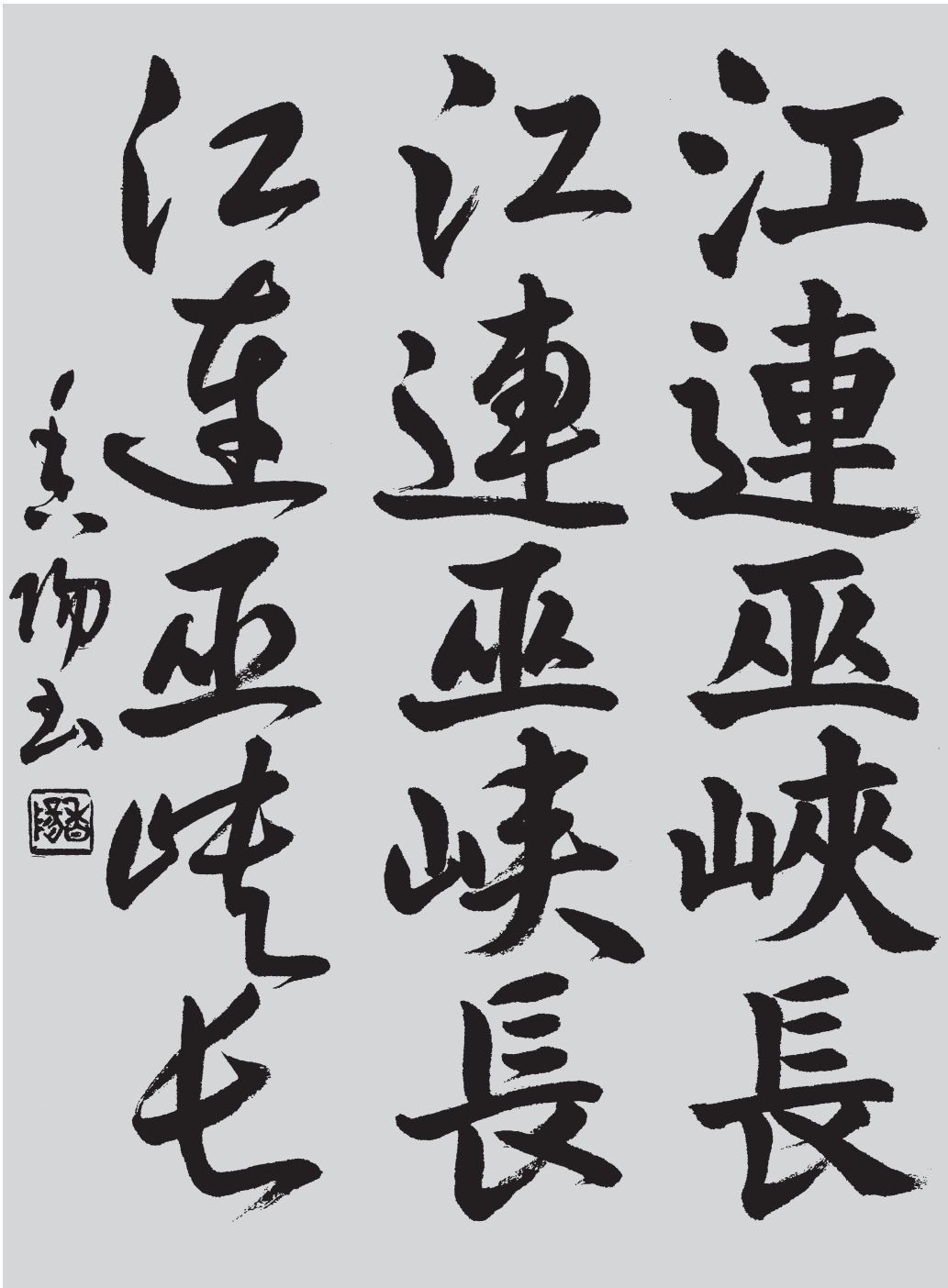
◆注意…はじめて出品される方は私製の紙（3×4 cm位）に次の4項目を記入して作品左下隅に貼って出品して下さい。会員は無料、会員外出品料は460円。

- ①かな部 ②支部名または都道府県名 ③氏名または雅号 ④新



福田香陽先生書

江連巫峽長（陰鏗）  
江は巫峽に連なって長し。



訳：青草江は巫峽とはるかに連なっている。

1. 随意部参考として出品してください。
2. 会員外の出品料は460円。

高山林壑先生書

夏木自新色 泉聲如舊時（陳鑑）  
かほのおのずか しんしよく せんせいきやうじ こと  
夏木自ら新色、泉声旧時の如し。



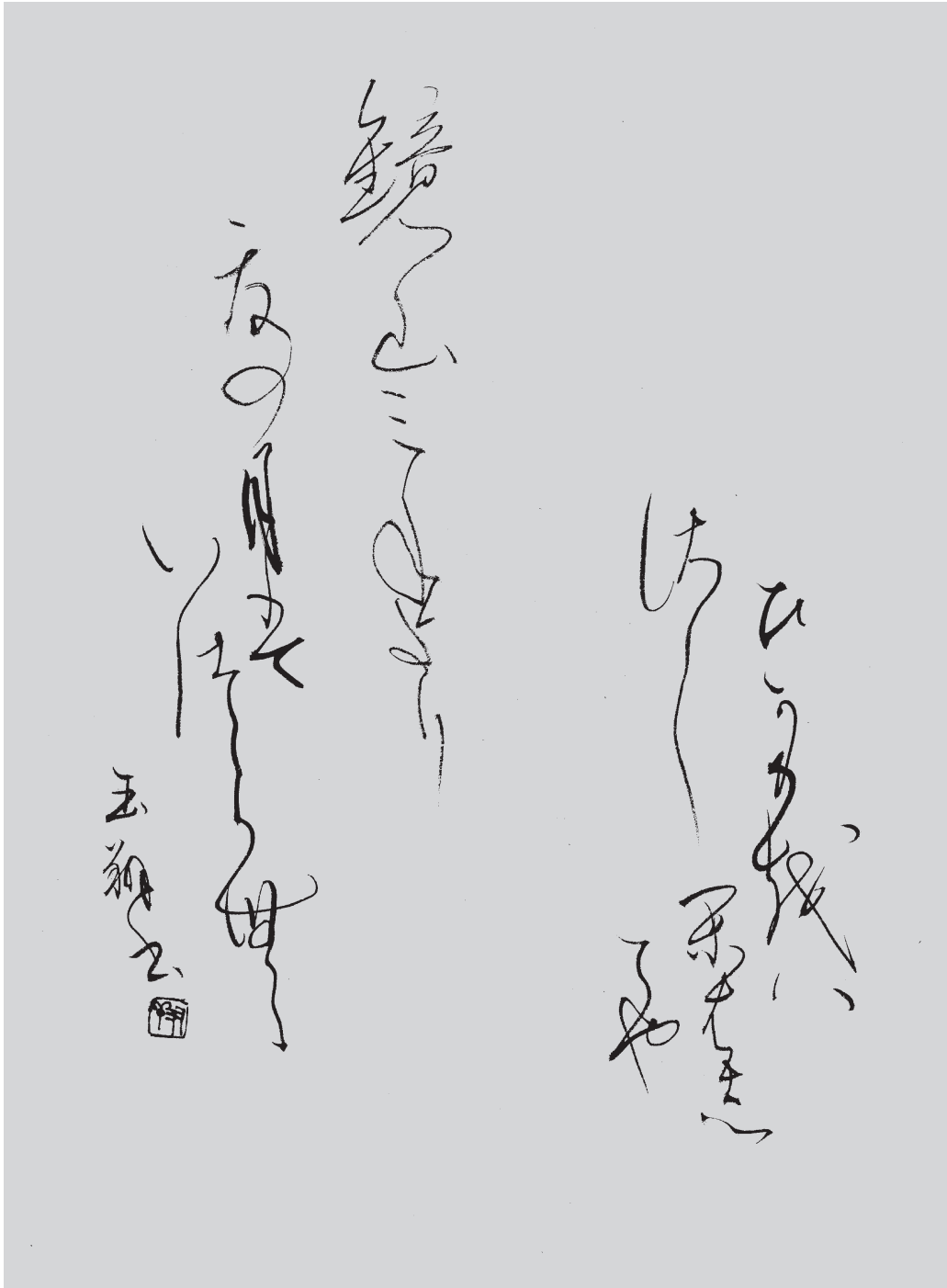
訳：夏木立はみずみずしく新しい翠色をしたたらし、泉の音は去年の様に涼しく聞える。

1. 随意部参考として出品してください。
2. 会員外の出品料は460円

随 意 部 参 考

福  
田  
玉  
翔  
先  
生  
書

光<sup>ひかり</sup>をばさしかはしてや鏡<sup>かがみやまね</sup>山峰<sup>やまね</sup>より夏<sup>なつ</sup>の月<sup>つき</sup>はいづらむ（源俊頼）  
ひ可<sup>ひかり</sup>利<sup>かり</sup>越<sup>を</sup>八<sup>は</sup>佐<sup>さ</sup>し閑<sup>か</sup>者<sup>は</sup>志<sup>し</sup>てや鏡<sup>かがみやまね</sup>山<sup>やま</sup>三<sup>み</sup>年<sup>ね</sup>より夏<sup>なつ</sup>の月<sup>つき</sup>盤<sup>は</sup>い徒<sup>つ</sup>ら無<sup>む</sup>



1. 随意部参考として出品してください。
2. 会員外の出品料は460円

湯澤春翠先生書

川上香蓉先生書

課題2 (初段階以下)

課題1 (初段階以上)

槍ヶ岳は東西南北四つの山稜を引き、  
それが瘦せて陰しいところから  
鎌尾根と呼ばれてゐる。

常念岳は北アルプスの他の深山とは  
違つて麓の風景とマッチしてゐると  
ころに、芸術家気質の人に親しま  
れる理由があるのだらう。

◆五月号掲載六月二十二日締切の課題  
2の二行目の字句に、事務局の手違  
いで誤りがございました。  
正 山郭公いっか来な<sup>○</sup>かむ  
誤 山郭公いっか来<sup>×</sup>かなむ  
お詫びして訂正いたします。この部  
分は審査に影響しません。

課題2 (初段階以下)  
槍ヶ岳は東西南北四つの山稜を引き、  
それが瘦せて陰しいところから鎌尾  
根と呼ばれている。  
〔日本百名山〕深田久弥

- ◆注意
- (1) 自分の段級に合った課題を選択。
  - (2) ペンまたはボールペン(黒色)を使用のこと。青インクは不可。
  - (3) 段級欄は本人が記入(色は黒)。
  - (4) はじめて出品される方は私製の紙(3×4 cm位に)次の4項目を記入して作品左下隅に貼って出品して下さい。①硬筆部②支部名または都道府県名③氏名または雅号④新
  - (5) 会員は無料・会員外は四六〇円

課題1 (初段階以上)  
常念岳は北アルプスの他の深山とは  
違つて麓の風景とマッチしてゐると  
ころに、芸術家気質の人に親しま  
れる理由があるのだらう。  
〔日本百名山〕深田久弥